

友だち同士でトラブルが……。上手に気持ちを伝えよう！

広島県教材開発委員会 学習展開例

人権教育としてつきたい力

- ・トラブルを自分も相手もプラスとなるように解決しようとする意欲や態度を育てる。 **【価値的・態度的側面】**
- ・お互いの違いを認め、受け入れるための想像力や感受性を育てる。 **【技能的側面】**
- ・適切な自己表現を可能とするコミュニケーション技能を育てる。 **【技能的側面】**

- ① 教科等 特別活動 ② 学年 中学校・高等学校
- ③ 題材名 「友だち同士でトラブルが……。上手に気持ちを伝えよう！！」
- ④ 学習指導要領における内容 中学校：学級活動 (2) 一オ 望ましい人間関係の形成
 高等学校：ホームルーム活動 (2) 一オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
- ⑤ 本時の目標
- ・トラブルを自分も相手も納得できるように解決しようとする言い方を考えることができる。
 - ・相手の事情や自分の心情を大切にしようすることができる。
 - ・ロールプレイを通して、自分の気持ちを伝え、相手の考えを大切に受けとめようすることができる。
- ⑥ 学習の流れ (全 50 分)

学習の流れの概略

トラブルに関する事例を基に、相手の事情を考えながら、自分の気持ちの伝え方をパターンに従って考える。それをロールプレイで演じ、気付きや感想を交流する。日頃の自分の気持ちの伝え方を振り返り、今後のトラブル時に生かしたい点を考える。

| 学習活動 | 指導上の留意事項 | 評価規準 (評価方法) |
|--|---|----------------|
| <p>1 友だち同士でトラブルがあった場合の行動例について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの伝え方について、いずれか(AorB)の方法を選び、挙手する形で答える。 ・それぞれ(AorB)の行動をした後の気持ちを考える。 ・普段の自分の行動を振り返る。 <p>2 本時の学習内容を確認する。 <本時のテーマ></p> | <p>○掃除時間に、何度か注意をしたが掃除をしない人がいて困っているという事例を考えさせる。</p> <p>A：攻撃的な言い方でやるように伝える。 B：我慢して何も言わない。 (自分も掃除をするのをやめる等、トラブルに向き合わないような行動パターンもあるが、A、Bのパターンで考えさせる。)</p> <p>○どちらのパターンでも、後味が悪いことを感じさせる。</p> | |
| <p>友だち同士のトラブルを、上手に気持ちを伝え合って解決する方法を考えましょう。</p> | | |
| <p>3 ワークシートを用い、事例1の内容のトラブルに対する3つのパターンの話し方について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③のパターンで言った時の気持ち、言われた時の気持ちを考える。 | <p>○③のパターンが、相手の事情も自分の心情も大切にしようとする伝え方であることを確認させるため、③のパターンにつ</p> | |

| | | |
|---|--|--|
| <p>・①～③のパターンが、誰の気持ちを優先にした言い方であるか、確認する。</p> <p>4 ワークシートを用い、事例2で、3つのパターンの具体的な言い方を考え、ロールプレイを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例2の内容を確認する。 ・役割の順番を決める。 生徒1役…トラブルが原因で不快を感じている人。 生徒2役…トラブルの原因を作った人。 観察役…生徒1、2の会話を観察する。 進行役…パターンを指示する。 ・生徒1がトラブルに対して発する言葉を考える。 パターン①…自分のことだけを考える。 パターン②…相手のことに気にしすぎる。 パターン③…自分のことも相手のことも考える。 ・ロールプレイを行う。(順番に4回) <p>5 ワークシートに、ロールプレイによる気付き、感想を記入し、グループごとに話し合う。</p> <p>6 今後トラブル時に生かしたい点を考える。</p> <p>7 まとめを行う。</p> | <p>いて考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事例2の内容を確認させ、3つのパターンでの気持ちの伝え方を考え、ロールプレイを行うことを伝える。 ○4人グループを作り、役割の順番を決めさせる。(ローテーションで全ての役を行わせる。) ○トラブルに対して発する言葉を、パターンの条件に沿って考えさせる。普段の自分の行動と重ねながら考えさせる。 【技能的側面】 お互いの違いを認め、受け入れるための想像力や感受性 ○進行役の指示の下に、それぞれの役割を行わせる。 【技能的側面】 適切な自己表現を可能とするコミュニケーション技能 ○トラブルを自分も相手も納得できるように解決をしていくための好ましいやりとりを視点に考えさせる。 【価値的・態度的側面】 トラブルを自分も相手もプラスとなるように解決しようとする意欲や態度 ○日頃トラブルや不快に感じるがあった場合の、自分の気持ちの伝え方を振り返りながら、今後のトラブル時に生かしたい点を考えさせる。 ○良い友だち関係を保つために、お互いの事情を考え合いながら、気持ちを伝え合うことが大切であることを伝える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○相手の事情や自分の心情を大切にしようとすることができる。(ワークシート) ○自分の気持ちを伝え、相手の考えを大切に受けとめようとすることができる。(行動観察) ○トラブルを自分も相手も納得できるように解決しようとする言い方を考えることができる。(行動観察・ワークシート) |
|---|--|--|

本教材の特色

- 「気持ちを伝える側、伝えられる側」の体験を行うことで、双方の感情を考えることができる。
- 日常、友だち同士で起こる些細なトラブルの解決方法について考える機会となる。

友だち同士でトラブルが……。上手に気持ちを伝えよう！！

学校で、友だちと過ごす毎日。いろいろな出来事や感じたことを話し、聞き合い、過ごしています。その友だちとトラブルが……。その時、どのように解決しますか？



次の事例について、考えよう！！

★事例1

放課後、AさんはBさんと一緒に帰る約束をしていました。ところが、約束の時間になってもBさんは来ません。1時間待って帰ろうとした時、やっとBさんは来ました。

Bさん：「ごめん、遅くなってしまって……。」

Aさん：パターン①「(腹を立てて) 遅いよ！何分待ったと思っているの！いい加減にしてよ！！」

パターン②「(気持ちを抑えて) いいよ……。気にしないで……。」

パターン③「遅かったね。すごく待って疲れたよ。しかも、なかなか来ないから心配したよ。何かあったの??」

○パターン③で『言った時』の気持ち、『言われた時』の気持ちを考えよう。

『言った時』の気持ちは？

『言われた時』の気持ちは？

○①～③は誰の気持ちを優先にした言い方でしょうか。

- ・パターン①は【 】のことだけ考えた言い方。
- ・パターン②は【 】のことを気にしすぎる言い方。
- ・パターン③は【 も 】のことも考える言い方。

★事例2

生徒1は、生徒2に本を貸してあげました。生徒1は、何度か返してもらいたいことを伝えましたが、生徒2は、なかなか返してくれません。生徒1は、その本を今すぐ返してもらいたいと思っています。

そこで、生徒1は生徒2に気持ちを伝えます。次のパターン①～③別に、伝える内容を考えて、生徒1、生徒2で会話をしましょう。

生徒1 (トラブルが原因で不快を感じている人) が伝える内容のパターン

パターン①→【自分のことだけ考えるタイプ】

パターン②→【相手のことを気にしすぎるタイプ】

パターン③→【自分のことも相手のことも考えるタイプ】

生徒2 (トラブルの原因を作った人) は、生徒1が発した内容に合わせて会話をする。



ロールプレイを演じよう！！

○割り当て表（全員がすべての役に当たるよう、次の表に氏名を書き込もう。）

| | 生徒1 | 生徒2 | 観察者 | 進行役 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1回目 | | | | |
| 2回目 | | | | |
| 3回目 | | | | |
| 4回目 | | | | |

○生徒1が伝える内容をパターンごとに考えよう。

パターン①→【自分のことだけ考えるタイプ】

パターン②→【相手のことを気にしすぎるタイプ】

パターン③→【自分のことも相手のことも考えるタイプ】



ロールプレイを振り返ろう！！

ロールプレイを行ってみて感じたこと（気づき・感想）を記入しよう。



日頃の、自分の気持ちの伝え方（パターン）を振り返ろう！！
今後トラブル時に生かしたい点を考えよう！！